

# 邦銀のガバナンス体制 グローバル基準 未達 トップ評価はりそなHD

邦銀のガバナンス体制は、グローバル基準に達していない。日本金融監督協会が独自に行った国内初の銀行のガバナンス体制の適合性評価で、厳しい結果が出ている。パナソニック銀行監督委員会が2015年7月に公表した「銀行のためのコーポレート・ガバナンス諸原則」などを踏まえた調査で、「現状、グローバル水準に達している邦銀は皆無」との結果になった。

## 金融監督協会が国内初調査

適合性評価は、原則では軒並み1点台が並んだ。りそなHDでは取締役の過半数を社外取締役が占めるほか、みずほフィナンシャルグループや三井住友フィナンシャルグループでは取締役会議長と代表取締役を分離している点

や海外金融機関の取り組みを参考に①独立社外取締役の人数と専門性、継続的トレーニングの実施②取締役会議長と代表取締役の分離状況③リスクアペタイト・フレームワーク（RAF）の導入・展開・開示④内部監査の独立社外取締役に対するレポートینگ・ラインの確立――などに

ついて各項目1〜3点で評価し、平均点を算出した。最高点はりそなホールディングス（HD）の2.5点、3メガバンクグループは各2点で、地域銀行

は各2点で、地域銀行取締役となっていない

点などが「G-SIF ISとしての許容レベルに達していない点が

少なくない」と指摘した。地域銀では、監査役会設置会社を採用するケースが依然多く、「グローバル水準には遠く及ばない」結果に。同協会では国際的に通用するガバナンス体制構築には「監査等委員会設置会社への移行は不可避」との見方を示している。

しかし、メガ3行ではRAFは導入されたばかりで組織内の展開や対外的な開示が不十分な上、内部監査の第一義的なレポートینگ・ラインが独立社外取締役となっていない

点など

点などが「G-SIF ISとしての許容レベルに達していない点が

少なくない」と指摘した。地域銀では、監査役会設置会社を採用するケースが依然多く、「グローバル水準には遠く及ばない」結果に。同協会では国際的に通用するガバナンス体制構築には「監査等委員会設置会社への移行は不可避」との見方を示している。

しかし、メガ3行ではRAFは導入されたばかりで組織内の展開や対外的な開示が不十分な上、内部監査の第一義的なレポートینگ・ラインが独立社外取締役となっていない

点など

点などが「G-SIF ISとしての許容レベルに達していない点が

少なくない」と指摘した。地域銀では、監査役会設置会社を採用するケースが依然多く、「グローバル水準には遠く及ばない」結果に。同協会では国際的に通用するガバナンス体制構築には「監査等委員会設置会社への移行は不可避」との見方を示している。

しかし、メガ3行ではRAFは導入されたばかりで組織内の展開や対外的な開示が不十分な上、内部監査の第一義的なレポートینگ・ラインが独立社外取締役となっていない

点など

点などが「G-SIF ISとしての許容レベルに達していない点が

少なくない」と指摘した。地域銀では、監査役会設置会社を採用するケースが依然多く、「グローバル水準には遠く及ばない」結果に。同協会では国際的に通用するガバナンス体制構築には「監査等委員会設置会社への移行は不可避」との見方を示している。